

貨物駅跡地の土地利用については、中心市街地まちづくり戦略において、防災公園の検討が位置づけられており、緑や潤いの確保、防災性の強化など、市街地環境の向上を図ることが求められています。

このため、防災公園の具体化に向けて、公園整備のコンセプトや方針など、貨物駅跡地利用の基本的な考え方を示す「貨物駅跡地利用基本計画（案）」について、建設水道委員会と沼津駅鉄道高架とまちづくり特別委員会にて報告されましたので、その内容をお知らせします。

屋内子ども広場等のイメージ図▲

沼津市中心市街地まちづくり戦略

貨物駅跡地利用基本計画(案)について

公園整備の基本的な考え方

●整備コンセプト

平時・有事にフレキシブルに利用される防災・コミュニティの地域拠点

●整備方針

防災の視点

周辺の防災拠点施設を補完し
地域の防災力を高める拠点

コミュニティの視点

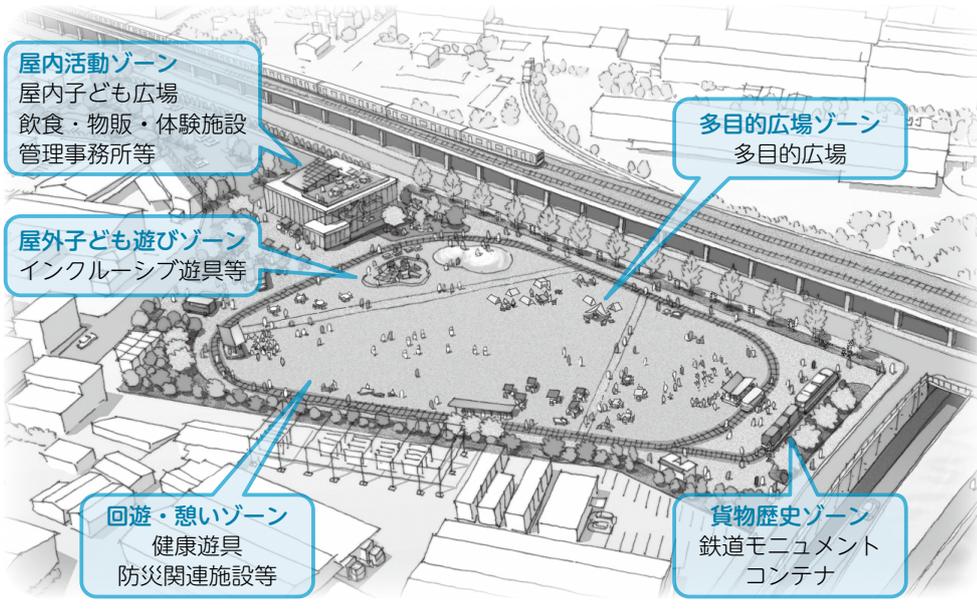
多様な人々の思い・地域の歴史を継承し
将来にわたってにぎわいを生む公園

●災害時の考え方

- 初動活動期 …… 避難地として周辺住民の受け入れ
- 応急活動期 …… 救援・救助部隊の活動拠点及び救援物資の集積・輸送拠点等
- 復旧活動期 …… 仮設住宅建築スペース、ボランティアセンター等

●平常時の考え方

▼公園の整備イメージ図



今後のスケジュール

	R 6	R 7～R 9	R10～R13
現貨物駅	計画策定	整備手法・管理運営等検討	用地取得・公園整備
新貨物ターミナル	新貨物ターミナル整備		